

近畿北部地域の道路交通網整備について

近畿部会提出
説明担当 豊岡市

高速道路や高規格幹線道路などの交通網は、物流や企業立地などの社会・経済の活性化を促すとともに、災害時の緊急輸送、救急医療など、生活における安心・安全を保障する重要な社会基盤であります。

しかしながら、近畿北部地域における整備状況は充分ではなく、地域間格差を解消し、地域の再生による国土の均衡ある発展のためには、高速交通体系の確立と道路交通網を整備し、既存の「播但連絡道路」等とのネットワーク化を図る必要があります。

つきましては、次の事項について特段のご配慮を賜りたく強く要望いたします。

記

1 道路整備財源の確保について

地域生活・経済の活性化に関連した道路整備を着実に促進するため、安定した道路整備財源の確保と充実強化を図ること。

2 高規格幹線道路等の整備について

(1) 近畿北部と大都市圏である京阪神を接続し、連携の強化と地域の活性化を図るため、高規格幹線道路である「北近畿豊岡自動車道」、「京都縦貫自動車道」における未完成・未着工区間の建設を促進し、早期完成を図ること。

(2) 北近畿を横断する「鳥取豊岡宮津自動車道」は、日本海沿岸を接続する高規格幹線自動車道に匹敵する道路であるとともに、当該区間は日本海沿岸の高速道路網における唯一の空白区間でもある。

全線整備にむけて、未指定区間を早期に調査区間に指定し、調査区間の早期事業化と整備区間の早期完成を図ること。